

# 令和6年度 文京区立昭和小学校 授業改善推進プラン

## 第1学年

教科	指導上の課題の分析⇒	指導の在り方⇒	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の経験したことや想像したことを意欲的に文章に書こうとする児童が多い。しかし事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることは不十分である。</li> <li>○「は、を、へ」の使い方、拗音・促音を正確に表記できない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○順序を整理し、簡単な構成を考えて文章を書けるようにするためには、主語と述語が整った文章を読む活動や短い文章を書く活動を日常的に行っていく。また、書くことを楽しめるように指導をしていく。</li> <li>○相手や順序を考えながら書く力をつける。ひらがなの表記について授業や家庭学習で復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主語と述語が整った文章を視覚的に提示し、視覚でも文章の構造が理解できるようにする。</li> <li>○文例を提示し、書き言葉に慣れさせる。また、文に表しやすい題材を提示したり、話し合う中で書く事柄を決めたりできるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○算数の学習に対し、意欲的に取り組んでいるが、答えが分かっている計算に対して、どうしてその答えになるのかの説明が難しい児童がいる。</li> <li>○計算能力に差がある。数の概念図と具体物とが結びつかない児童がいる。</li> <li>○問題文を正しく読み取る力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明するための語彙を増やしたり、説明する機会を作ったりして、学習内容を充実させる。</li> <li>○児童の能力に合った課題を与える。</li> <li>○問題文を読むときに、分かっていることと尋ねていることがきちんと理解できるように、常に問いかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活に即した課題を設定することによって、状況を把握しやすくし、説明ができるようにする。</li> <li>○苦手意識のある児童には、ブロックなどの半具体物を用いた活動を取り入れる。</li> <li>○問題文を3つの文でとらえさせ、順を追って図に表していくことで、問題文を正しく読み取れるようにする。問題文から場面を図式化する活動を取り入れる。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの学校生活に多くの人に関わっていることを知る児童が多い一方で、どんなふうに世話になっているかを理解していない児童が多い。</li> <li>○身近な自然に触れあおうとする思いはあるが、親しみを持ち、大切にしようとする意識が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校探検を通して、学校生活を支える人々の中で、自分が話を聞いてみたい人を決めてインタビューする。聞いたことを自分なりに絵や文で表す。</li> <li>○アサガオを育てる活動を通して、植物も生命があることに気付かせ、自分だけの名前を付けさせ、大切にしようとする気持ちをもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんな場面で誰にお世話になっているか教科横断的に学習する機会を作り、自分から進んで挨拶をしたり、感謝の思いをもったりできるようにする。</li> <li>○植物や虫を育てる際、関連した本の読み聞かせなどを取り入れ、人間と同じく生きていることに気付かせる。</li> </ul>

音 楽	<p>○思いに合った表現をするときに、自分の歌声や発音に気を付けることが難しい児童がいる。</p> <p>○器楽の知識を得ることはできているが、技能が十分には身に付いていない。</p> <p>○楽しく鑑賞することができているが、曲想を感じ取ることは難しい。</p>	<p>○自分の歌声や発音の仕方に気付き、気を付けながら表現できるようにする。</p> <p>○楽器の基本的な奏法を指導し、身に付けさせることで、どのように演奏するか、児童が進んで考え表現できるようにする。</p> <p>○音楽に合わせて体を動かす活動や、感じ取ったことや気付いたことを伝え合う活動を充実させる。</p>	<p>○範唱を聴いて歌ったり、少人数のグループで自分や友達の声を聴きながら歌ったりすることで、自然な発声を身に付けさせる。</p> <p>○常時活動として、器楽の練習を取り入れ、毎時間少しずつ積み上げることで、技能の定着を目指す。</p> <p>○曲想によって、体の動かし方を変化させたり、旋律を口ずさんだりして、目と耳で音楽の特徴を捉え、よりよく曲想を感じ取れるようにする。</p>
図 工	<p>○作製に必要な道具の使い方は分かるが、正しく使うことが難しい児童がいる。また、材料の使い方の知識が少なく、自由な表現に生かすことが難しい児童がいる。</p> <p>○表現したいことを見付けることはできるが、表現の幅が狭く、作品例の真似から脱却できない児童がいる。</p>	<p>○正しい道具の使い方を身に付けさせるとともに、材料について多様な視点をもたせ、様々な気づきができるようにする。</p> <p>○作品作りに入る前に、題材やテーマについて全体で考える時間を設け、新しいものを生み出したり、捉え直したり、発想や視点を転換したりできるようにする。</p>	<p>○デジタル教科書などの動画を見せ、正しい道具の使い方を身に付けさせる。また、材料の様々な使い方を全体で共有し、表現に生かすことができるようにする。</p> <p>○マインドマップを活用して、イメージを広げ、いろいろな見方や表現ができるようにする。また、工夫したところなどを発表させたり、友達同士で作品を見合ったりして、多角的に良さを見付ける活動を行う。</p>
体 育	<p>○基礎的な体力がついていない児童がいる。</p> <p>○規則を守り、誰とでも仲良く運動することはできているが、勝敗を受け入れることが難しい児童がいる。</p>	<p>○様々な運動遊びを通して、運動する楽しさを味わわせるとともに、体力をつけたり、多様な体の使い方ができるようにしたりする。</p> <p>○勝敗を受け入れることで、運動をより楽しむことができることに気付かせる。</p>	<p>○課題に合わせて、目標回数を設定したり、用具や場を工夫したりする。準備や片付けをスムーズに行い、運動時間を確保する。</p> <p>○勝敗を受け入れている児童を称賛したり、記録の伸びなど、自分たちの成長に気付いたりする機会を設ける。</p>